

「人口ビジョン(案)」及び「総合戦略(案)」に係るパブリックコメント等への対応

番号	区分	ご意見の内容	ご意見への対応
1	人口ビジョン	23ページの①人口の現状分析のまとめの中の、最後の項目について、就業者数が多い＝基幹産業とはならず、表現がおかしいのではないか。	製造業については稼ぐ力を有し、就業者が多く雇用吸収率が高いことから本市の基幹産業の1つととらえており、表現を修正します。 【修正前】 男性・女性とも「製造業」の就業者数が多くなっており、本市の基幹産業の1つとなっています。 【修正後】 稼ぐ力と雇用吸収力からみると、本市では「製造業」や「漁業」などが基幹産業となっています。
2	総合戦略	6ページの(2)公営住宅の状況の中で、「ウッドタウン整備事業のほか、浜西住宅の建替え」とあるが、検討されている地域振興住宅も追加すべきではないか。 また、建替えは浜西住宅と併せて行う森木住宅も追加すべきではないか。(24ページについても同様)	建替えについては追記します。(P6・P24共通) 【修正前】 浜西住宅の建替え 【修正後】 浜西住宅・森木住宅等の建替え 地域振興住宅は今年度(平成27年度)から実施される予定です。6ページでは現時点の状況を述べるとともに、平成27年度からの5年間の計画である総合戦略として、24ページで「地域振興住宅の建設」を掲げています。
3	総合戦略	25ページに掲げている連携中枢都市圏の形成について、目標数値が平成28年度とあるが、ゴールの設定がこれでよいか。	連携中枢都市圏については、今後連携できる分野等の検討・協議を鹿児島市と行っていくもので、平成28年度中に協約を結ぶ目標となっています。その後において圏域のビジョンに沿って連携を継続的に図っていくものですが、総合戦略では協約の締結を一つの区切りと捉えており、「(協約締結)」として追記します。
4	総合戦略	27ページで、「安心・安全なまちづくり」とあるが、ここに防犯・防災といった表現がないのはなぜか。	防犯・防災については、市町村行政において必要な施策として総合計画等では掲載が考えられるものですが、総合戦略については、人口減少対策を主眼に今後5年間で重点的に進めていくものを盛り込むこととしています。
5	総合戦略	27ページのKPIIについて、交流サロンの設置数を掲げているが、健康づくりを目的として取り組んでいる、ころばん体操の実施公民館数を掲げてはどうか。	ご意見を踏まえてKPIIを修正します。 【修正前】 交流サロンの設置数 基準値:1箇所 目標値:16箇所 【修正後】 ころばん体操の実施公民館数 基準値:1公民館 目標値:50公民館

「人口ビジョン(案)」及び「総合戦略(案)」に係るパブリックコメント等への対応

番号	区分	ご意見の内容	ご意見への対応
6	総合戦略	<p>長年にわたる傾向の分析を読むにつけ、既存のルール・体制・取り組みの延長線上ではここにかかげる 目標を達成するのはとても大変だろうと容易に想像できます。おそらくかなり大胆な着眼点と実行力が求められるものと思えます。</p> <p>そこで、これらの実現にむけた具体的なアイデアを自由な発想で考えてみました。その際、常に心にとめたのは次のようなことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 斬新な発想を大切に ・ これまでの枠にとらわれない ・ 縦割りメンタリティ(縄張り意識)を捨てる ・ 「それは無理だ・できない」の目線ではなく、「それを実現するには〇〇を変えればよい」もしくは「〇〇が必要だ」の目線で <p>これは、いわば「ひとりブレインストーミング」(※1)による自由なアイデア提案にすぎません。実務的な情報や知識は考慮されていません。しかし、むしろそのような知識がないことで、斬新な発想・着眼点を提案できる可能性もあるのではと思います。</p> <p>まず活気にあふれた未来の街を思い浮かべたとき、スローガンのようなものが浮かんできました。 人が来なくなるまちへ、 住みなくなるまちへ、 働きたくなる取り組み(産業)をこの街におもしろみや実利があれば人は集まる</p> <p>アイデアを整理してみると、大きく次の4項目となりました。ただし、正確にはそれぞれが独立したものではなく、お互いが関連しあう関係になっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用の創出 <ol style="list-style-type: none"> a. あたらしい働き方の提案とサポート b. 新規産業の創出 2. 教育機能の発展的活用 <ol style="list-style-type: none"> a. 串木野高校の斬新な変革 b. 市来農芸高校へ産学官民プロジェクトの導入 3. 地域の魅力ある生活圏の創造 <ol style="list-style-type: none"> a. 市の中心部に近い地域(3号線付近)の空き家を活用したシルバー独居世帯をターゲットにしたシェアハウス 4. 資金や人材の調達方法 	<p>総合戦略は、喫緊の課題である人口減少問題に対応し、地方創生を成し遂げていくため、5年間の取組についてまとめるものですが、社会経済情勢や市民ニーズへの確かつ柔軟な対応ができるよう、効果検証を踏まえながら必要に応じて見直すこととしていきます。</p> <p>総合戦略(案)の中でも、しごとづくりにおいて、新規創業・起業家支援事業、ひとづくりでファミリーサポートセンター運営による子育て支援や公立高校の活性化支援、まちづくりにおいて空き家の有効活用など項目として掲げておりますが、具体においてはご意見のとおり着眼点と実行力が求められます。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、今後の事業推進や戦略の見直しを含め、参考にさせていただきます。</p>

「人口ビジョン(案)」及び「総合戦略(案)」に係るパブリックコメント等への対応

番号	区分	ご意見の内容	ご意見への対応
		<p>具体的な説明(抜粋)</p> <p>1. 雇用の創出 「あたらしい働き方の提案とサポート」 ・在宅業務を行う環境づくりへの自治体の体制サポート提供 (新規在宅ワーク開業者へのパソコン支援やFreeWiFiの提供エリア 拡充) ・子育て中の女性や介護離職した中高年も就労できる雇用 体制のひな形づくり (子どものお迎え代行や医療機関と連携した預りシステムの構築、 ワークシェア採用と業務連携)</p> <p>2. 教育機能の発展的活用 「串木野高校の斬新な変革」 ・本市の国際交流やまぐろ漁などの特色を活かし、国際色豊かな体制 を整えた、教育機関への変革 「市来農芸高校へ産学官民プロジェクトの導入」 ・畜産や農業、6次産業化の専門的な技術・研究に企業とともに高水準で 取り組む高校に</p> <p>3. 地域の魅力ある生活圏の創造 「市の中心部に近い(3号線付近)の空き家を活用したシルバー独居世帯を ターゲットにしたシェアハウス」 ・新規事業設立への後押し ・物件所有者に対する優遇やリフォームサポート ・入居者優遇措置</p> <p>4. 資金や人材の調達方法 ・プロジェクトファイディング^(※2)の位置づけ ・クラウドソーシングのコンセプト^(※3)の応用</p> <p>※1 プレーンストーミング ある問題やテーマに対し、参加者が自由に意見を述べることで、多彩なアイデアを得るため の会議法 ※2 プロジェクトファイディング 援助の対象となりうる有料プロジェクトの発掘 ※3 クラウドソーシング 不特定多数の人の寄与を募り、必要とするサービス、アイデア、またはコンテンツを取得す るプロセス</p>	